

平成30年度認知症地域支援推進員研修【新任者研修】
Ⅱ 認知症の人とその家族の支援体制の構築及び
認知症ケアの向上を図るための取組みの推進
『連携支援・ケアパス（事例①）』

H30年度認知症地域支援推進員研修
連携支援・ケアパス

二足のわらじで一石二鳥

藤枝市安心すこやかセンター開寿園
（地域包括支援センター）

藤枝市認知症地域支援推進員
夏賀 則子 H30.7.12

藤枝市の市勢

主要路線による交通の要衝

富士山静岡空港まで25分

産業:

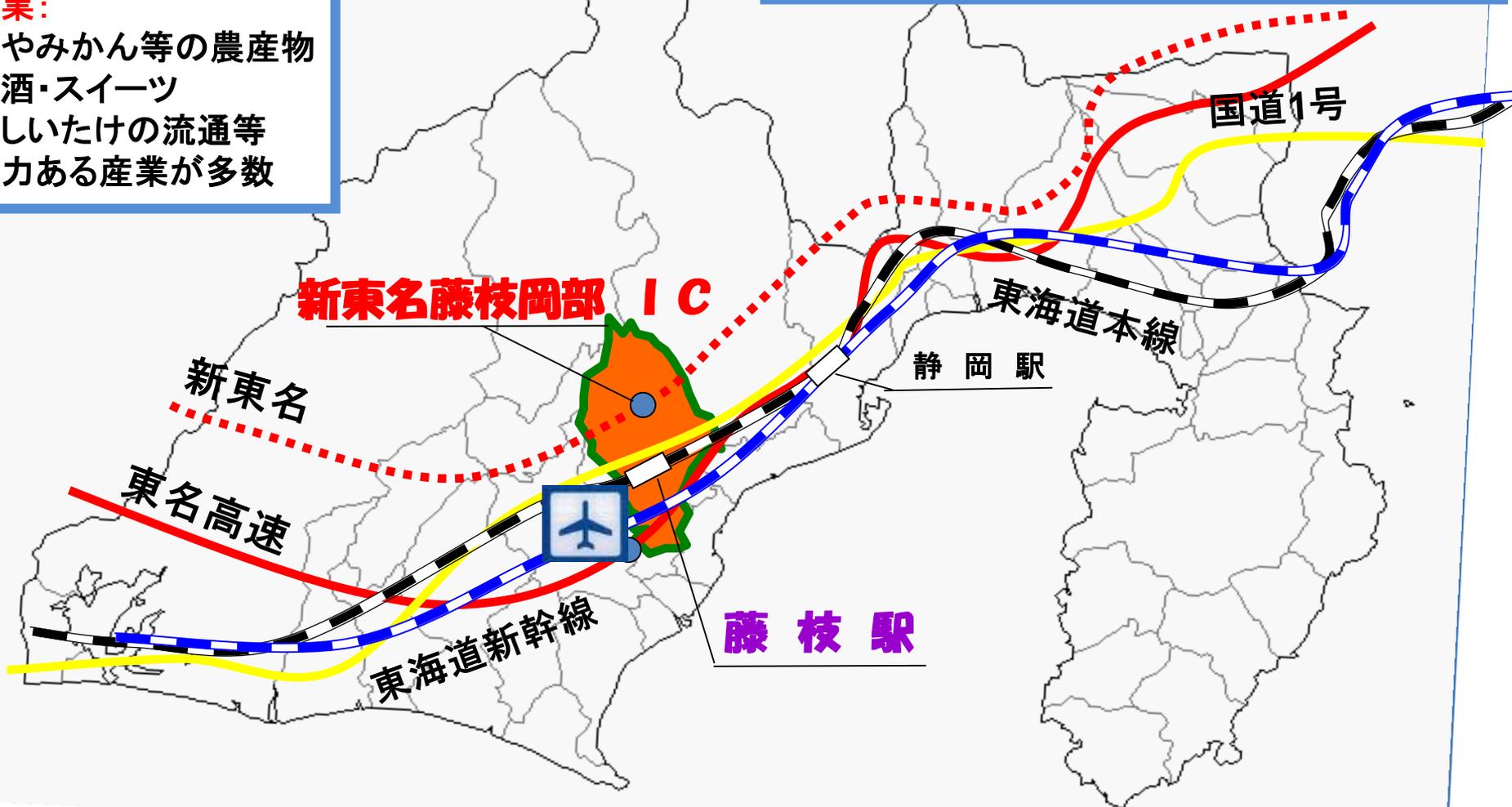
茶やみかん等の農産物
地酒・スイーツ
乾しいたけの流通等
魅力ある産業が多数

面積: 194.03km²

- ・「ほど良く都会 ほど良く田舎」
- ・東海道の宿場町
- ・10年連続転入人口増加のまち

気候: 比較的温暖

平均気温16.60℃【最高34.4℃ 最低-5.2℃】



蹴球都市・ふじえだ



HISTORY
PRIDE
DREAM

ふじえだから日本に元気を!
長谷部 誠 チャリティーイベント IN FUJIEDA

6.12日 PASO THE MESSAGE - supported by VOLKSWAGEN

長谷部 誠選手

H23年度 藤枝市で開催される

サッカーを通して人づくり・街づくり・生きがいづくり



朝ラー



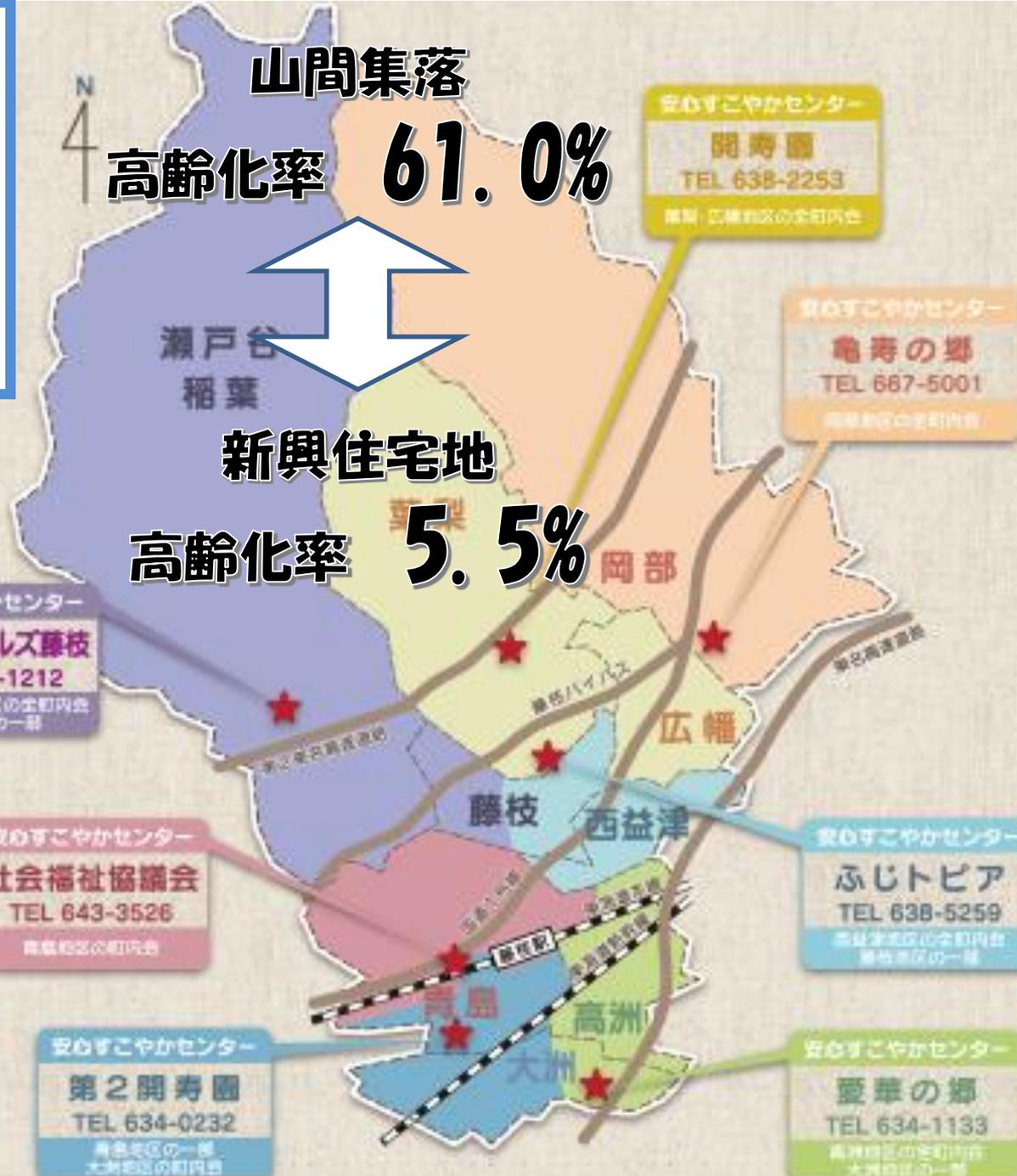
蓮華寺公園



白藤



人口: 145,789人
高齢者人口: 42,077人
高齢化率: 28.9%
 (平成30年4月1日現在)
日常生活圏域: 9圏域
地域包括支援センター: 7か所



認知症地域支援推進員
2名
 地域包括ケア推進課
 地域包括支援センター開寿園

藤枝市の介護の実際

1号被保険者認定 6,192人

特養500床
老健500床

GH
189床

自立高齢者
35,885人

65歳以上
42,077人

地域包括ケアシステム構築のための**最優先課題**
在宅医療・介護の連携
要介護認定者約5,000人は在宅において医療・介護の連携で支えている

総人口	145,789人	
高齢者人口	(再掲)42,077人	28.9%
要介護認定	(再掲) 6,192人	14.7%

人口:平成30年4月1日現在(住民基本台帳)
認定者数:平成30年3月事業状況報告より
(2号被保険者 認定者168人除く)

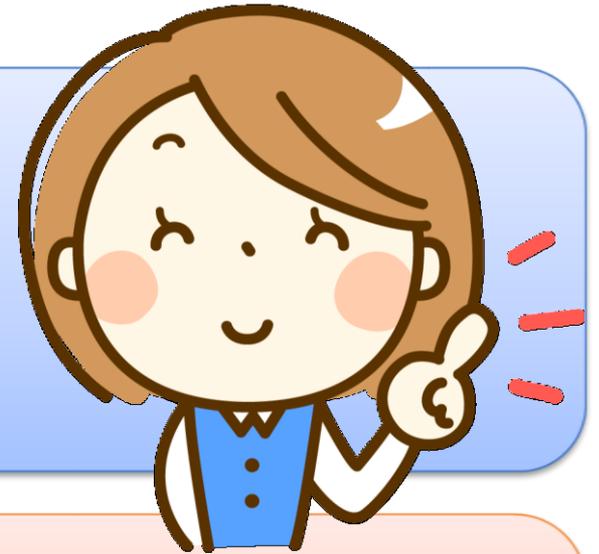
生産年齢人口
84,557人

年少人口
19,155人

- ・サ高住233人
- ・有料老人ホーム237人

本日の内容

1 藤枝市の認知症施策



2 兼務推進員(委託包括)の一石二鳥

藤枝市認知症施策 4つの柱 H22~h29



4つの柱

認知症

I 防ぐ

- ・まずは、認知症にならない
- ・転ばぬ先の杖をつくる

はつらつシニア大学
生きがいデイサービス

II 見つける

- ・認知症だということを早く発見する
- ・軽度の認知症の進行を食い止める

認知症対策委員会
認知症ネットワークガイド
認知症初期集中支援チーム

III 知る

- ・認知症に対する
まちの人の理解を深める

認知症サポーター養成講座
認知症の人に
優しいお店認定制度

IV 支える

- ・多くの人認知症の人を支える
- ・多くの人認知症の人の
家族を支える

認知症家族支えあい交流会
認知症見守りネットワーク事業
地区社協との連携
(アクションミーティング)
こころの声アンケート
若年性認知症本人・家族交流会

施策の充実を目指し第7次 (H30~H32) 計画に反映

「認知症の人と 家族の声」を 施策に反映することを基本！に

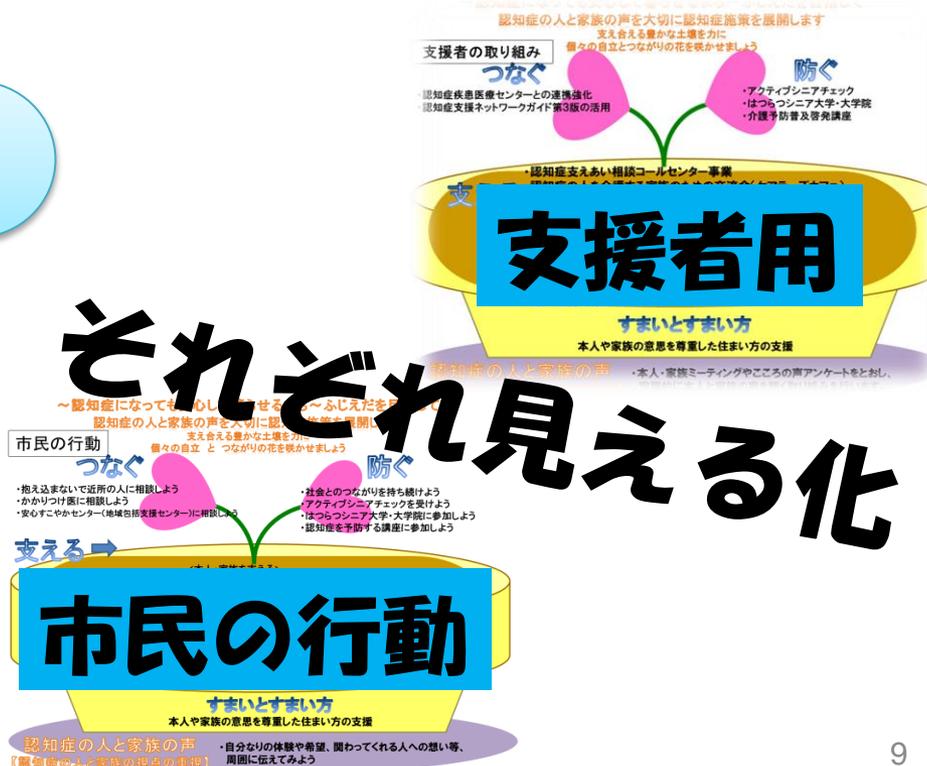
4つの柱を改編

I すまいとすまい方

II 支える

III つなぐ

IV 防ぐ



～認知症になっても安心して暮らせるまち～ふじえだを目指して

認知症の人と家族の声を大切に認知症施策を展開します

支え合える豊かな土壌を力に

個々の自立とつながりの花を咲かせましょう

支援者の取り組み

つなぐ

- ・認知症疾患医療センターとの連携強化
- ・認知症支援ネットワークガイド第3版の活用

防ぐ

- ・アクティブシニアチェック
- ・はつらつシニア大学・大学院
- ・介護予防普及啓発講座

支える

- ・認知症支えあい相談コールセンター事業
- ・認知症の人を介護する家族のための交流会(ケアラースカフェ)
- ・認知症の人や家族が集う場所への協力
- ・介護マークの普及・啓発
- ・徘徊高齢者家族支援サービス
- ・認知症見守りネットワーク事業
- ・若年性認知症の人と家族の交流会「さくらの会」
- ・認知症サポーター養成事業
- ・この指止まれ大作戦(認知症の人と家族の支援を一緒に考える会)
- ・認知症初期集中支援事業

すまいとすまい方

本人や家族の意思を尊重した住まい方の支援

認知症の人と家族の声

【認知症の人と家族の視点の重視】

- ・本人・家族ミーティングやこころの声アンケートをとおり、定期的に本人と家族の声を聴く取り組みを行います。

～認知症になっても安心して暮らせるまち～ふじえだを目指して

認知症の人と家族の声を大切に認知症施策を展開します

支え合える豊かな土壌を力に

個々の自立 と つながりの花を咲かせましょう

市民の行動

つなぐ

- ・抱え込まないで近所の人に相談しよう
- ・かかりつけ医に相談しよう
- ・安心すこやかセンター(地域包括支援センター)に相談しよう

防ぐ

- ・社会とのつながりを持ち続けよう
- ・アクティブシニアチェックを受けよう
- ・はつらつシニア大学・大学院に参加しよう
- ・認知症を予防する講座に参加しよう

支える

＜地域で支える＞

- ・認知症の人の気持ちを理解しよう
- ・認知症サポーター養成講座を受け、地域で認知症の人や家族を支えよう

＜本人・家族を支える＞

- ・一人で悩まず、認知症支え合い相談コールセンターに介護の悩みを相談してみよう
- ・認知症の人や家族が集う場所に出かけ、悩みを共有し、介護に関する情報交換をしてみよう
- ・介護中であることを、周囲にさりげなく知ってもらいたいときに、介護マークを利用しよう
- ・行方不明になる可能性がある場合、認知症見守りネットワークの登録や徘徊高齢者家族支援サービス(GPS)を利用しよう
- ・若年性認知症の人と家族の交流会「さくらの会」に参加しよう

すまいとすまい方

本人や家族の意思を尊重した住まい方の支援

認知症の人と家族の声

【認知症の人と家族の視点の重視】

- ・自分なりの体験や希望、関わってくれる人への思い等、周囲に伝えてみよう

藤枝市認知症施策 4つの柱 H30～



I すまいとすまい方

本人、家族の意思を
尊重した住まい方の提案 等々

II 支える体制づくり

この指とまれ 若年性さくらの会
ケアラーずカフェ
サポーター養成講座
初期集中チーム運用
GPS、見守りネットワーク登録
介護マークの普及 等々

III つなぐ 連携強化

疾患センターとの連携
ネットワークガイド活用 等々

IV 防ぐ 認知症予防の推進

介護予防教室展開
居場所への協力
アクティブシニアの支援 等々



認知症の人と家族の声

【認知症の人と家族の視点の重視】

- ・本人ミーティングやこころの声アンケートをとおり、本人の声を聴く
- ・家族ミーティングやこころの声アンケートをとおり、家族の声を聴く

⇒H28年度 本人・家族を対象にこころの声アンケートを実施

I すまいとすまい方

- ・本人や家族の意思を尊重したすまいの確保やすまい方を支援する体制の構築に努めます。
- ・認知症サポーター養成講座を通して、認知症の人や家族を支えるための理解者を地域に増やしていくことで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進します。



Ⅱ 支える

- ・認知症支えあい相談コールセンター事業
- ・認知症の人を介護する家族のための交流会
(ケアラズカフェ)
- ・認知症の人や家族が集う場所への協力
- ・介護マークの普及・啓発
- ・徘徊高齢者家族支援サービス(GPS)
- ・認知症見守りネットワーク事業
- ・若年性認知症の人と家族の交流会「さくらの会」
- ・認知症サポーター養成事業
- ・この指止まれ大作戦
- ・認知症初期集中支援事業



平成30年度 藤枝市委託事業

ほっと会(認知症家族会)のケアラズ♡カフェ 認知症介護者の集い

一人で悩まず、あなたの思いを声にしませんか？
介護をしている者同士、きっとわかり合えるはずですよ
コーヒーを飲みながら、情報交換したり、本音や悩みを打ち明け合い、
楽な介護と一緒に見つけないか？ ほんの少しでも、心を軽くしましょう！

日時 毎月 第3土曜日 10:00~12:00

(但し11/30(金)、H31.1/19(水)は除く)

会場

ほっとな居場所「^{わっしゅい}輪笑」藤枝市青木2-31-2
(藤枝税務署から旧国1方面へ向かった2軒目。駐車場有り)

参加費

400円(コーヒー付)(会員200円)
(但し11/30(金)、H31.1/19(水)は別料金)

4/21(土)	11/17(土)
5/19(土)	11/30(金)男性主体の居酒屋ケアカフェ(要予約)
6/16(土)	12/15(土)
7/21(土)「お嫁さん」の集い	H31.1/19(土)ランチでケアカフェ(要予約)
8/18(土)	2/16(土)
9/15(土)	3/16(土)
10/20(土)「ほっち」の集い(シングル介護)	※11/30と1/19は参加費が変わります

- ◆当日は直接会場へお越し下さい(※11/30と1/19は要予約です。)
- ※都合で変更・中止する場合がありますので事前に電話で確認頂けると助かります
- ◆ご本人を連れての参加も可能です。事前にお知らせください

問い合わせ連絡先 **090-4799-2557**(ほっと会)

認知症家族会『ほっと会』の集いは、毎月第1水曜日の10時~12時に文化センター3階で開催しています。お気軽にご参加ください。

ほっと会(公社)認知症の人と家族の会 静岡県支部 藤枝分会

介護者の年齢層の変化
⇒介護者の年代に応じた
多様な相談機関の提供と周知

介護する立場によって
抱える問題や悩みの違い
⇒立場別での交流

家族同士で悩みを共有し、
仲間づくりや介護に関する
情報交換を定期的に行なう



介護マークを知っていますか？

ほっと会(公社)認知症の人と家族の会静岡県支部藤枝分会
家族の声から介護マークが誕生しました。

きっかけは男性介護者の声からでした

- ・公共トイレに介護者が付き添う際
 - ・・・周囲から冷ややかな目
- ・見た目が健康そうな二人が診察室に入っていくと
 - ・・・「なぜふたりで入るのか?と呼び止められた」

「介護中ということを理解してもらえたら・・・」

今では

障害の種別は問わず

介護をする際使うことができます

全国普及率

9県 / 514市町村で配布・活用されています

男性介護者年々増加

h4 h28

男性介護者 16.8% 34%

女性介護者 83.2% 66%

全国国民生活基礎調査より





認知症などにより、徘徊の可能性のある人の名前・住所・連絡先・写真等を**事前に登録**

実際に行方不明になった時に、登録した情報を活用し、**早期に発見・保護**するための制度

H27年2月1日

藤枝市・藤枝警察署・志太消防本部と協定書を締結

⇒H30年5月末現在 **185名の登録**

H28

- ・**有機的なネットワーク**の構築に向けて、登録者が行方不明になった事例を通して、関係機関の動きを確認を行った。
- ・警察からの情報提供が増えた。(登録者が行方不明になり発見された・未登録の人で保護したケースの情報提供等)

H29

- ・車での行方不明や独居高齢者等の現状の課題について関係機関と情報の共有を実施

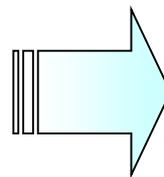


- ・相談(個別相談・情報提供)
- ・交流会(当事者同士・家族同士)
- ・本人の活動の場(やってみたい)

⇒対象や目的について
H30年度に再度協議



**本人や家族の声から
必要な資源や支援体制の構築へ**



住み慣れた生活の継続に向けて



本人・家族の声を届ける

(大洲地区男女共同参画推進員・大洲自治会主催)

男女が共に行う
在宅介護の輪を広げよう

何かすこしだけ変かな・・・

母さんが65歳の頃・・・平成21年頃

- ❖ 財布が見つからない・・・
- ❖ 車の鍵・家の鍵がどこか分からない
- ❖ 買い物に行って、買ったものをすっかり忘れて腐ってしまった

行方不明

❖ 平成26年2月

第一回目の**行方不明発生!!!**

❖ 近所の人、警察、消防に
大騒ぎで捜してもらう

その後、2回程同様の事態発生!

夜中に起き出して騒ぐ、
家の中をやたら歩き回る等、
ホトホトまいている・・・

地域のみなさんへメッセージ

早期に知人や近所の人に話してみれば良かった。どうしても隠してしまう。話すことにより、知識を得たり、助けてもらえる。

大切にしたい

- ❖ 病気を治す薬はない
- ❖ 治す薬があれば治してやりたい!

- ❖ 悪くなるのを見ているだけ・・・本当に辛い
- ❖ とは言え、
**何事も前向きでよく頑張ってくれた母さん
大切にしたい**



小学校

年をとること、認知症になることって、
どんなことかな？



警察学校

★2年生★



サポーター養成講座やっています



住民主体のキャラバン・メイトが大活躍(H30年度)





H28年度 こころの声アンケートの本人・家族の声から感じたこと

・特別なことでなく、あたりまえのこと

→本人の声を地域に届ける

一緒に届ける仲間を増やす(活動できるキャラバンメイトを増やす)

・そのあたりまえのことをみんなで支える地域づくり

(ケアマネ・包括・サービス事業所・家族・地域の人・病院など)

→1人を支える顔の見える関係作り(地域ケア会議など)

・本人の声を聴ける仲間を増やしたい

→ケアマネジャーと一緒に考える機会を作る

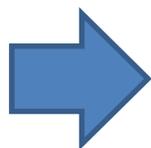
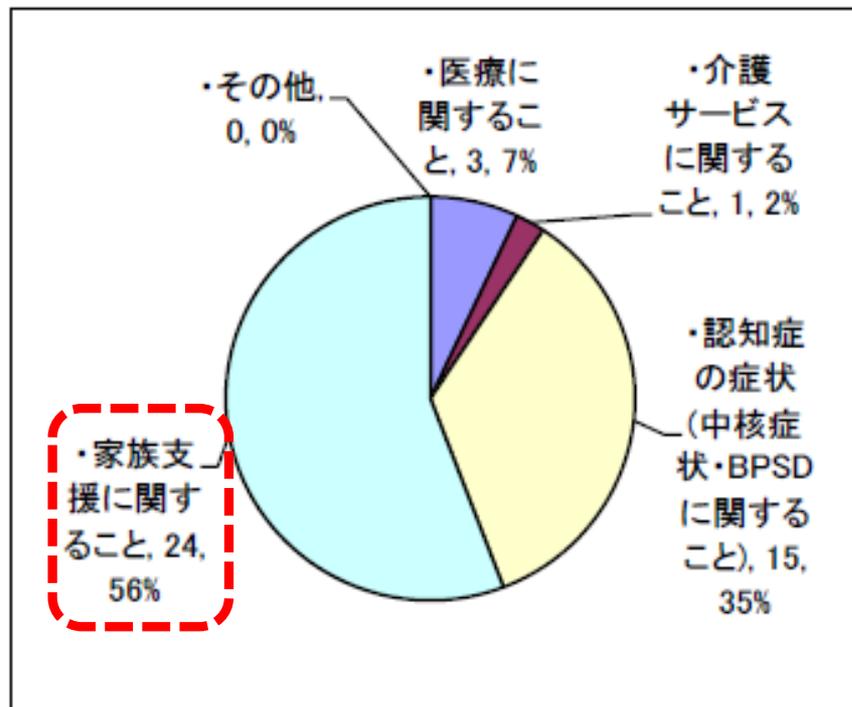
『この指とまれ大作戦!!!』

Ⅱ 支える



この指止まれ大作戦

【ケアマネジャーにお願いしたアンケート】
担当する認知症の人と家族の状況で、
当てはまることはどれですか。
(最も大変だと感じた項目1つ)



H30年度 脱領域を目指して

H29年度
アンケートから
賛同が得られるケアマネジャーを募り開催

第1回目	藤枝市の認知症施策と こころの声アンケートについて 認知症の人を介護する家族の 支援について(意見交換と課題の抽出)
第2回目	家族の こころの声アンケートからみえるもの
第3回目	本人の こころの声アンケートからみえるもの
第4回目	認知症の人の家族を招いて こころの声アンケートの聴き取り





Ⅲ つなぐ

- ・認知症疾患医療センターとの連携強化
 - ⇒ H29年度 藤枝市認知症対策委員会にて近隣市の認知症疾患医療センターと情報交換
- ・藤枝市認知症支援ネットワークガイド第3版の運用
 - ⇒ H23年度 認知症支えあいネットワークガイド作成
 - H25年度 認知症支援ネットワークガイド第2版に更新
 - H28年度 ケアパスの機能を加え第3版に更新



第1版

藤枝市認知症支援 ネットワークガイド

保存版

認知症とは、単なる物忘れと違い“脳の病気”です。
その原因はさまざまで、誰もが認知症になる可能性があり、
今後20年間で倍増するとされている身近な病気です。

住み慣れた地域で安心して暮らせる“ふじえだ”を目指して
～認知症の人と家族を支えるネットワーク～をつくりました。



あなたの安心を支える大きな3つの柱

柱1 物忘れ相談医

かかりつけ医以外で、認知症の診断・治療について相談ができます。

柱2 安心すこやかセンター

介護保険の手続、高齢者の生活・介護に関する総合相談窓口です。

柱3 認知症の人と家族の会藤枝分会“ほっと会”

介護の悩み、介護者同士の相談、認知症に関する情報提供をしています。

他にも多くの方々・グループ・事業所などが支えあいネットワークをつくっています。

藤枝市の支援のしくみをのぞいてみましょう。

いくつになっても笑顔で♡ふじえだ♡

第2版

藤枝市認知症支援 ネットワークガイド

保存版

認知症は、単なる物忘れと違い、“脳の病気”です。
その原因はさまざまで、誰もが認知症になる可能性があり、
今後20年間で倍増するといわれている身近な病気です。

みんなで支える認知症

～いつまでも安心して暮らせるまち～

♡ふじえだ♡ をめざして

防ぐ

知る

見つける

支える



いくつになっても笑顔で♡藤枝♡

藤枝市の支援のしくみをのぞいてみましょう



第3版

認知症支援 ネットワークガイド

認知症は、単なるもの忘れと違い、“脳の病気”です。その原因はさまざまで、誰もが認知症になる可能性があるとても身近な病気です。



みんなで支える認知症
～認知症になっても安心して暮らせるまち～
♡ふたごお♡をめでして

目次

第3版 ケアパス機能の明確化

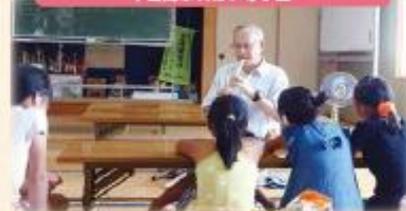
藤枝市

地域ぐるみで認知症の人とその家族を支えよう

福祉での介護予防レクリエーション



下駄聞ふれあい寺子屋



医師の診察



認知症の人に優しいお店



安心すこやかセンターや民生委員による見守り・声かけ



新聞店による見守り・声かけサービス



認知症サポーター養成講座(習原学校)



きて!みて!ふじトピア(地区交流センターへの出張相談)



お問い合わせ先 藤枝市 健康福祉部 地域包括ケア推進課

〒426-8722 静岡県藤枝市岡下山1丁目11番1号 [TEL] 054-643-3225 [FAX] 054-643-3506

[Eメールアドレス] chiikicare@city.fujieda.lg.jp

[藤枝市ホームページ] <http://www.city.fujieda.shizuoka.jp>

藤枝市認知症支援ネットワークガイド 平成29年3月作成

認知症と診断された方・「認知症かもしれない」と不安に思っている方やそのご家族に、いつ・どこで・どのような支援が受けられるのかを症状に沿ってご案内します

気づき

日常生活については自立して過ごせている

軽度

日常生活で見守りなどが必要となってくる

中等度

日常生活で介助が必要となってくる

重度

日常生活で常時介護が必要となる

終末期

介護なしでは日常生活を送ることができない



ご本人の様子
(症状や行動)

- 物忘れが見られ、人の名前や物の名前が思い出せないことがしばしば見られる。約束を忘れる。
- 会話の中で「あれ」「それ」などの代名詞がよく出てくる。
- 怒りっぽくなった。趣味や好きなことをしなくなった。
(藤枝市こころの声アンケートより)

- 買い物で必要なものを必要なだけ買うことができない。
- 夕食の段取り、家計の管理などに支障を来す。
- 大事な物を何処に保管したか思い出せずに探し回ることが増える。
- 同じことを何度も話したり、聞いたりする。

- 時間や場所がわからなくなることが増えてくる。
- 季節にあった服を選ぶことができなくなる。
- 服を着る順番がわからなくなる。
- 外出先から一人で戻れなくなる事がある。

- 歩行が不安定になり、転倒なども増えてくる。
- トイレの場所が分からず失敗することが増えてくる。
- 食べ物でないものも口に入れる。
- 食事や入浴など一人でできず介助が必要になる。

- 言葉によるコミュニケーションが難しくなる。
- 表情が乏しくなり、刺激に対する反応が鈍くなる。
- 歩くことが困難となり、ほぼ寝たきりの状態となる。

- あれっ？おかしいな？と感じることがあったら、P10の「藤枝市もの忘れ相談シート」を使ってかかりつけ医に相談してみましょう。
- 心配なことなどは、**1 安心すこやかセンター**に相談し、今後に備えていきましょう。
- 2 藤枝市認知症支えあい相談コールセンター**や**3 家族会**などを通して、他の介護者と情報交換や悩みを分かち合い仲間を作りましょう。
- できる範囲で、身近な人には認知症のことを伝えて、理解者や協力者を作

りましょう。



ご家族様へ

- ご自身のお体も大切にし、自分自身頑張りすぎず、介護サービスを利用しましょう。
- 一人で抱え込まず、**1 安心すこやかセンター**や**2 ケアマネジャー**等の専門機関に相談してみましょう。
- 薬のことや、日頃の様子など、かかりつけ医やかかりつけ薬局に相談しましょう。

の時間を作りましょう。

相談したい

- 1 安心すこやかセンター (地域包括支援センター)** P3 P5,6・藤枝市地域包括ケア推進課【TEL:643-3225】

2 ケアマネジャー P7

他の家族の話を開きたい

3 藤枝市認知症支えあい相談コールセンター【TEL:643-7830】 P8

4 家族会【ほっと会】【グッドピアーズ】 P8 **5 認知症家族支えあい交流会** P3

病院にかかりたい

6 かかりつけ医・かかりつけ薬局・かかりつけ歯科医院 P7,8

人と交流しながら元気な体を維持したい

7 サロン・老人クラブ・地域の集まり・居場所・認知症カフェなど P7,8

8 はつらつシニア大学 P3

9 介護予防・生活支援サービス事業 P3 **10 介護保険のサービス** P3

困ったときに助けてほしい



小規模多機能型居宅介護
同じ事業所の中で、「通い」を中心に、「訪問」や「宿泊」を組み合わせサービスを受けられます。



11 藤枝市認知症見守りネットワーク P3

12 徘徊高齢者家族支援サービス P4

14 介護マーク P4

13 歯科衛生士による在宅訪問歯科指導 P4

15 紙おむつの支給【要介護3以上】 P4

自分のことを自分で決めたい

16 日常生活自立支援事業 P4

17 成年後見制度 P4



住まい施設のこと

「施設に入所して利用するサービス」グループホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・ケアハウス・有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅【施設によって入所の要件が異なります】

わがまちふじえだでこれからも暮らしたい

日常生活については
自立して過ごしている

軽度 ケアパスが
必要になってくる

日常生活で常時介護
が必要となる

終

●物忘れが見られ、人の名前や物の名前が思い出せないことがしばしば見られる。約束を忘れる。
●話の話を聞き取れなくなることがある。名前や住所などを書き取ることができなくなった。
●「藤枝市こころの声アンケートより」

●買い物で買いたくても買えない。買いたいものを買えない。
●夕食の準備や家計の管理などに支障が出てくる。
●大掃除や部屋の掃除が思うように出せずにいることが増える。
●同じことを何度も話したり、聞いたりする。

●時間や場所から迷ってしまうことが増えてくる。
●季節にあつた服を選んだり、季節にあつたものを着ることができなくなる。
●外出先から一人で戻れなくなる事がある。

●歩行が不安定になり、転倒なども増えてくる。
●トイレの場所が分からず失敗。
●食べ物の量が減る。
●食事や入浴など一人でできず介護が必要になる。

●言葉に混乱が起きることがある。
●表情が硬くなる。
●歩行が不安定になり、転倒なども増えてくる。
●食べ物の量が減る。
●食事や入浴など一人でできず介護が必要になる。

本人のオーダーメイドになるように



- あれっ？おかしいな？と感じることがあったら、[23]の「藤枝市もの忘れ相談シート」を使ってかかりつけ医に相談してみましょう。
- 心配なことなどは、[24]安心すこやかセンターに相談し、今後に備えていきましょう。
- [25]藤枝市認知症支えあい相談コールセンターや[26]家族会などを通して、他の介護者と情報交換や悩みを分かち合い仲間を作りましょう。
- できる範囲で、身近な人には認知症のことを伝えて、理解者や協力者を作りましょう。

知ってもらおう

手に取ってもらおう

つないでいく

振り返る

見える化して共有していく

- 1 安心すこやかセンター [23] 藤枝市地域包括ケア推進課 [TEL: 054-3225]
- 2 藤枝市認知症支えあい相談コールセンター [TEL: 054-3225]
- 3 藤枝市認知症支えあい相談コールセンター [TEL: 054-3225]
- 4 家族会【ほっと会】 [TEL: 054-3225]
- 5 藤枝市認知症支えあい相談コールセンター [TEL: 054-3225]
- 6 かかりつけ医・かかりつけ薬局・かかりつけ歯科 [27]
- 7 サロン・老人クラブ・地域の集まり [28]
- 8 はつらつシニア大学 [29]
- 9 介護予防・生活支援サービス事業 [30]
- 10 介護予防のサービス [31]



13 歯科衛生士による在宅訪問歯科指導

14 紙おむつの支給【要介護3以上】 [24]

住み慣れた地域で暮らす私のネットワーク

★ケアマネジャーや担当地区の安心すこやかセンターの職員と一緒に あなたの日ごろなじみのある人や場所などを書きこんでいきましょう

民生委員

名前

☎

ご近所さんやお友達

名前

☎

何でも相談窓口

私の地区の安心すこやかセンター

名前

☎

生活・介護についての相談

私のケアマネジャー

名前

☎

介護が必要な方の希望や状態に応じて
これからの生活に必要なサービスを一緒に
考えてくれるパートナーです。

藤枝警察署

☎641-0110



交番

名前

☎

認知症の診断・治療についての相談

志太医師会
認知症対応医

志太医師会に登録した
認知症の診断、症状に
対応可能な医師です。

かかりつけ医

かかりつけ医

名前

☎

かかりつけ薬局

名前

☎

かかりつけ歯科医院

名前

☎

連携

相談

連携

相談

家族の連絡先

名前

☎

私の名前

名前

☎

家族の連絡先

名前

☎

連携

介護サービス事業所
(デイサービス・ショートステイなど)

名前

☎

名前

☎

安全・安心サポート
ネットワーク事業



消防署



認知症サポーター

家族会

ほっと会 (認知症の人と家族の会)

【定例会】
毎月第1水曜10:00～正午藤枝市文化センター3階
☎645-1014 (代表宅)

あなたの思いや悩みを声にして
ください!同じ立場の仲間たち
と話しあい、情報交換し、支え
合っています。秘密は守ります。



グッドピアーズ (認知症介護
家族の会)

【定例会】
毎月第2水曜13:30～15:30 岡部支所分館(岡部公民館)
☎667-3606 (三輪医院ボラン
ティアクラブ)

医師や介護の専門家がアドバ
イザーとして参加。話しやすさを
心がけています。ボランティア
で運営しています。



藤枝市認知症支えあい相談
コールセンター

☎643-7830 月～金・9時～17時
祝日・年末年始除く

若年性認知症相談窓口

☎252-9881 月・水・金・9時～16時
祝日・年末年始除く

ふれあいサロン

名前

☎

月に1～4回集まり、地域のボランティアと
ともに、ゲームやレクリエーションなど
楽しいひと時を過ごす場所です。

藤枝市もの忘れ相談シートの使い方

かかりつけ医に相談する場合

- 1 本人または家族が裏面の **もの忘れ相談シート** をチェックします。
- 2 チェックした **もの忘れ相談シート** を持参し、受診します。

★もの忘れ相談シートの備考欄に本人の具体的な症状を記入し、受診時にかかりつけ医に伝えましょう。



かかりつけ医がない場合など

- 1 本人または家族が右の **もの忘れ相談シート** をチェックします。
- 2 担当地区の安心すこやかセンター（または担当のケアマネジャー）に認知症対応医への受診希望を伝えます。
- 3 安心すこやかセンター職員（または担当のケアマネジャー）がご自宅に伺い、**もの忘れ相談シート** をもとにお話をお聞きします。
- 4 認知症対応医への受診予約を、安心すこやかセンターが行います。

予約日に受診します。場合により安心すこやかセンター職員（または担当のケアマネジャー）が受診に同行します。

★本人が受診に同意しない場合は、ご家族のみでの相談にも応じます。

詳しくは安心すこやかセンターまたは地域包括ケア推進課にお問い合わせください。

もの忘れ相談シート

「認知症かな?」と思ったらチェックしてみましょう

ご本人またはご家族がチェックして、気になる傾向がみられたら、安心すこやかセンターやかかりつけ医にご相談ください。



もの忘れがひどい

- 同じ話を繰り返したり、聞いたりする。
- よく知っている人の顔(名前)が思い出せない時がある。
- しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- 買い物などでお金の計算が出来ない。
- 火の不始末がある。
- 薬の管理ができなくなった。



人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった。
- 涙もろくなった。
- 「家族の誰かが物(財布、通帳、衣類等)を盗んだ」と言い張る。
- 自分の失敗を人のせいにする。
- 見えるはずのないものが見えたり聞こえたりする。
- 事実と違うことを言う。作り話をする。
- 「最近様子がおかしい」と周囲から言われた。

判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・運転などのミスが多くなった。
- シャツやズボンをきちんと着る事が出来ない。
- 話のつじつまが合わないことがある。
- お漏らしがある。

時間・場所がわからない

- 日にちや場所の感覚があいまいで、約束や受診日を忘れることがある。
- 家に戻れなかったことがある。
- 昼間ウトウトし、夜寝ない事がある。
- 夜になると落ち着かない。

意欲がなくなる

- 理由もなく気がふさいだり、落ち込むようになった。
- 身だしなみに無関心になった。
- 趣味や好きな事をしなくなった。
- 毎日やっていた日課をしなくなった。
- 外出を嫌がり、人との付き合いを避けるようになった。
- 風呂に入ることを嫌がるようになった。

不安感が強い

- ひとりになると怖がったり寂しがったりする。
- 外出時、持ち物を何度も確かめる。
- 「頭が変になった」と本人が訴える。

一番困っている事は何ですか？



IV防ぐ

- ・アクティブシニアチェック
- ・はつらつシニア大学・大学院
- ・介護予防普及啓発講座

認知症の発症に関連深い生活習慣病予防
社会参加、コミュニティーの構築
住民主体となって支えあえる体制づくり



地域で活躍する
アクティブシニアを応援!





2018 05 15

居場所やサロンへ出張しています



2018 06 14



2018 06 12

市町村から求められている 推進員の役割

認知症の人とその家族を支援する医療・介護関係者間の
連携ネットワーク構築の旗振り役として

認知症の人とその家族の視点を反映させて
医療・介護関係者間の連携ネットワークを構築

兼任推進員には
認知症の人とその家族を支援する
相談業務の個別支援を重ねる中で
医療・介護関係者間の連携ネットワークを推進

包括業務がある

- ①担当圏域内の業務
- ②介護予防普及啓発
- ③事業対象者の支援
- ④要支援者のプラン作成
- ⑤支援困難事例の対応
- ⑥虐待対応・消費者被害
- ⑦初期集中支援チーム などなど・・・



でも 地域支援推進員の
仕事もしなくちゃ～

そうだ！一石二鳥だ！

地域ケア会議をやるう

地域ケア会議5つの機能

- 1、個別課題の解決**
- 2、ネットワーク構築**
- 3、地域課題の発見**
- 4、地域づくり、資源開発**
- 5、政策の形成**



安心すこやかセンター開寿園方式 地域ケア会議

特徴

- 1、毎月定期開催
- 2、ネットワーク会議も同時開催
- 3、認知症をテーマに個別事例を対応
- 4、レギュラーメンバーと
ルーキーメンバーの参加で機能強化
- 5、書式の簡略化・目指す方向の共有





その1

独居で若年性認知症の方の生活支援

目的：地域ネットワーク構築のための地域ケア会議

テーマ：「今の暮らしの継続と情報共有について」

事例：60歳代前半の男性 / 一人暮らし / 金銭管理は兄
介護保険要介護2
アルツハイマー型認知症 長谷川式3点

介護保険訪問介護と障害者就労支援Aを利用



その1

独居で若年性認知症の方の生活支援

このケースを取り上げた理由

- ①認知症の方の一人暮らしの限界はどこなのか？
- ②関係者間での情報共有が十分できているのか？

市の今ある施策の活用はできているのか？
使える施策になっているのか？

地域の体制としてあったらいいなあ～があるのか



その1

独居で若年性認知症の方の生活支援

県若年性認知症コーディネーター

市自立サポートセンター

障害支援計画作成者・相談員

介護保険ケアマネ

就労継続支援A担当者

認知症家族会

包括主任ケアマネ

市推進課保健師

包括看護師

民生委員さん





その1

独居で若年性認知症の方の生活支援

- 1、まずは お互いの 持ってる情報の共有
- 2、課題・問題に目が行きがちなので・・・
「強みに着目」付箋を使いどんどん出しました
- 3、本人の心の声が聞こえてきた、見えてきた
「自分の家で暮らしたい、仕事は楽しい
自分で出来ることもあるんだ！
好きなサッカーをやりたい」



その1

独居で若年性認知症の方の生活支援

- 4、でも まてよ・・・
「独居の方の限界」ってそもそも「何？」
- 5、「誰が」「いつ」「限界」を決めるのか？
- 6、「情報集約」とは言うけれど
どこに、どんなタイミングで集めるの？
連携がみえているのかしら～？



その1

独居で若年性認知症の方の生活支援

介護保険の担当者会議

障害支援の担当者会議

スタート時期が違うので担会の時期が違う?!!

一緒にやれば 情報共有できる
どんな情報をいつ、どこで、誰と
共有していくか? 確認!



その1

独居で若年性認知症の方の生活支援

自分の言葉で
伝えたい

サッカー大好き

自転車に
乗れる

仕事を
続けたい

自宅で
生活続けたい

人の顔をよく
覚えている

仕事中

掃除が好き



その2

住民主体のキャラバンメイトの活躍

疑問>>

市内のメイト集会が始まり数年経過。

年々参加メイトが減っていく？

市内のメイトの数は ある程度いるはずなのに…

聞き取り>>

- ・専門職の人みたいに上手にできない
- ・専門職の人がやってくれるから自分たちの出番は
いらないかなあ～と感じている。
- ・行政の人にダメ出しもらうので やれる気がしない



その2

住民主体のキャラバンメイトの活躍

住民メイトさんの本音はどこ?≫

- ・一人じゃ不安だけど 誰かとだったらできるかも
- ・寸劇は楽しそうお手伝いからなら参加できるかも
- ・伝えたい人はたくさんいるんです
- ・〇〇の人達にも聞いてほしいと思っています



「それでは・・・
住民主体のメイトさんが
活躍している
富士宮の視察に行きませんか?」





ケース2 住民主体のキャラバンメイトの活躍



私たちも 何かやってみようかしら・・・





その2 住民主体のキャラバンメイトの活躍



テキストに沿って
作った紙芝居
使ってもいいかしら？

聞きやす〜い
わかりやす〜い



包括の圏域で活躍してもらいました 住民に大好評

その2

住民主体のキャラバンメイトの活躍



今年に入り 住民主体のメイト活動に

「**おれんじ**」と名付けました

行政に縛られず
自分たちで 集まり
「次は何をやる？」って
楽しんでいます。



「今度は専門職とコラボしようね」
「以前やったフェスタもやりたいね」

今後の活動

開寿園方式の地域ケア会議の展開で見えてきたこと

- 1)誰が困っているのか・何が困っているのか
- 2)本人の思い・願いは見えてますか
- 3)原因探しはほどほどに
- 4)すぐ出来そうなことをやってみる
- 5)問題が外に出たときが地域ネットワークのチャンス



今年度も引き続き

包括として 個別のケースの対応を丁寧に行います
地域ケア会議で包括ケアの推進を継続していきます
ケアパスを見直しながらご本人のネットワークを構築します
住民目線で 地域と一緒に課題解決に取り組みます
何より楽しくやっています

藤枝PK(プロフェッショナルカイゴ)選手権大会開催

【目的】

介護・福祉事業に携わる介護職員のプロフェッショナルな姿を介護技能コンテスト形式で市民に披露する事により『**介護とは何か**』を考える動機と『**介護の魅力と奥深さ**』を発信する

市内外の介護関係者や一般市民、高校生短大生など250人超が参加！！

開会式



超高齢化社会の到来に対し、介護人材の育成・確保は必要不可欠です。介護に携わる若い世代に、北村市長より日頃の労いと激励のエールが送られました。

チーム応援



藤枝PK(プロフェッショナルカイゴ)選手権大会開催

実技(コンテスト)



コンテストは「**ピース部門**」「**ドリーム部門**」の2部門で構成。
市内の7つの特養・5つの老健を運営する10の法人が各施設から選手を出し、
各部門5チームによる施設対抗戦で実施

最優秀賞「**ピース部門**」フォレスト藤枝(老健) 「**ドリーム部門**」愛華の郷(特養)

三輪大会実行委員長から表彰状が、藤枝市長賞としてカップ・盾・メダルが授与



藤枝PK(プロフェッショナルカイゴ)選手権大会開催

参加者の声

【選手】

共に働く仲間や利用者さんに対する感謝の気持ちとともに何よりも「**介護が大好き**」という感想が涙と共に伝えられた

【見学した市民】

「施設訪問をしなくても、雰囲気を感じることができた」

【介護福祉士養成課程の学生】

「学校で先生が言っていることがわかった」

小さい子どもを連れての家族応援もあり、日頃見ることの無い親の仕事を知る機会にもなりました。



三輪実行委員長より



「介護」と聞くと、仕事が大変そう、給料が少ない、お年寄りの笑顔に癒される、やりがいと魅力ある仕事など、世間の方が抱く介護職のイメージは、残念ながらプラス面よりマイナス面が上回っていることは否定できない事実です。このような介護職に対するマイナスイメージを拭き去り、**介護の素晴らしさを伝えるために**、市内の特養と老健の介護職員による**“プロの技”を披露するコンテスト**を開催することにしました。

ピョンチャンオリンピックでは「強く・高く・遅く」ですが、介護は「弱く・より目線を低く、優しく」が基本です。**各施設が切磋琢磨して、介護の質をあげていきましょう。**

**要介護5の妻と二人暮らし
「一年前より大変になってきたよ」**



通所との連絡帳は 我が家の宝

**産休明けの推進員としばし談笑。
おむつや 手帳の話で盛り上がる
2人の年齢差は45年。
それぞれを認め合う2人は笑顔。
介護のつらさ、戸惑い、不安を
今日を生きること消化している
きっと明日は来る と感じました。**

**文通募集欄で妻の名前を見た
「名前がかわいいなあ～」と思った
あれから50年……
妻の好きなカレーを作った
朝「今夜はカレーだよ」と言ったら
「うん」と返事が返ってきた
久しぶりの返事だった。**



原点

1人を支える体制作り



いくつになっても笑顔で
♡ふじえだ♡

サッカーのPK
かいじのPK
健康寿命のPK

認知症になっても安心してらせるまちふじえだを目指して

完